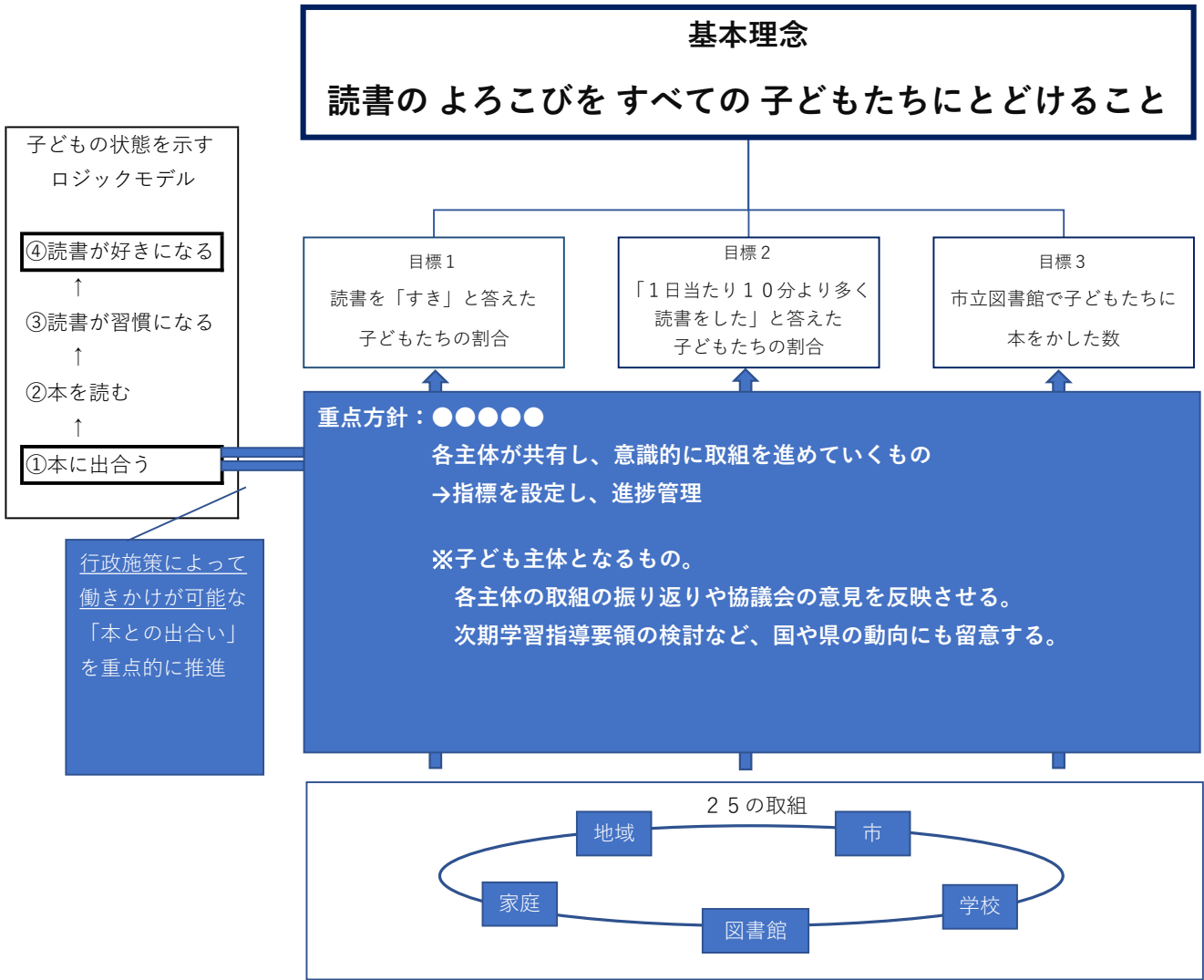


第4次子ども読書活動推進計画で目指す体系（イメージ）案

■第4次計画は、総合計画と計画期間を一致させるための移行期間である。このため、第3次計画の基本的な構成は継承しつつ、『計画の運営方法』を改善した。



内容は第3次を踏襲しつつも、下段の「もくひょう」との関係が明確になるよう、「計画のもくひょう」を「基本理念」に修正。基本理念を計画で共有し、その実現に向けて各主体が工夫して取り組めるような構成とした。

第3次を踏襲しつつ、「調べ学習や見学で、市立図書館を使うじゅぎょうをした学校の数」は削除。目標のレベルを揃えた。

【新設】達成に向けた進捗状況の把握のため設置。目標と同様、子どもたちがどう受け止めているかを判断基準にすることで、子ども主体の計画を目指す。

とくに、重点指標が達成できるような取組を市・図書館・学校・家庭・地域等で連携して取り組む。